



CISPR改訂規格に適合した擬似電源回路網

CISPRでは、平成18年7月のCISPR 16-1-2の改訂で50 V型擬似電源回路網の規定に新たな項目を追加しました。

第1に、測定結果の再現性及び不確かさを良くするために、回路網のインピーダンス規格に位相の項を設け、回路定数から計算される値から ± 11.5 度以内の偏差に入らなければならない、と決めました。また、未知の電源インピーダンスの影響や外部からの妨害波の影響を避けるために、電源端子と測定端子との分離度を規定しました。さらに、測定端子を確実に50 Ω 終端するために、擬似電源回路網の内部か外部に10 dBの減衰器を挿入することを決めました。

これらの改訂内容の詳細はCISPRの刊行物『CISPR 16-1-2 Amendment 2, 2006-7』を参照してください。この刊行物は日本規格協会で購入が可能です。

なお、この改訂内容は、わが国の規格としての情報通信審議会の答申にはまだ採用されていません。したがって、電気用品安全法などの日本の規格を対象とした測定では、この内容を考慮する必要はありません。しかし、外国向けの製品の測定では注意が必要です。

CISPRの新しい規定を満足する擬似電源回路網は、これまでの規定も満足することになりますので、弊社では、今後販売する擬似電源回路網の仕様を、この改訂内容に適合するものといたしました。(10 dBの減衰器の挿入につきましては、測定感度が低下することを考慮し、測定時に適宜使用していただくことにいたしました。)

新しい仕様の擬似電源回路網は下記の表のようになっております。

各種の規格も順次CISPRの新規格に改訂されてゆくものと考えられます。今後は是非、これらの回路網をご利用ください。なお、これまでお使いいただいた擬似電源回路網の新CISPR規格への適合のための改修もお引き受けいたします。

型名(旧型名)	回路網の種類	周波数範囲	電源線路最大定格
KNW-242F(KNW-242C) KNW-243F(KNW-243C) KNW-244F(KNW-244C)	50 /50 μ H+5 V型	9kHz ~ 30MHz	単相、250(125)V、15A 三相4線、440V、30A 三相4線、440V、100A
KNW-407F(KNW-407) KNW-408F(KNW-408) KNW-341F(KNW-341C) KNW-342F(KNW-342C) KNW-343F(KNW-343C)	50 /50 μ H V型	0.15 ~ 30MHz	単相、125V、15A 三相3線、440V、25A 三相3線、440V、100A 三相3線、440V、200A 三相3線、440V、300A
KMW-404F(KMW-404)	50 /5 μ H+1 V型	0.15 ~ 30MHz	単相、125V、5A